



東京大学ヒューマニティーズセンター  
第53回 オープンセミナー

# 東アジアの「開発」と「発展」

—日・中・韓の開発研究を比較する—

佐藤 仁

(東京大学東洋文化研究所 教授)

キム・ソヤン

(韓国・西江大学東アジア研究所 准教授)

汪 牧耘

(東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程)



お申込用QRコード  
事前登録制(2/9㍻切)

Zoomオンライン開催

2月11日(金) 17:30-19:30

开发

개발

발전

開発

发展

发展



東京大学ヒューマニティーズセンター  
第53回 オープンセミナー

## 東アジアの「開発」と「発展」

—日・中・韓の開発研究を比較する—

発表者：佐藤 仁、キム・ソヤン、汪 牧耘

### 概 要

近代化や産業化の側面で見ると、アジアは欧米との比較において常に後発の立場にあった。後発という自意識に立脚した「追いつけ、追い越せ」の精神は、日本だけでなく東アジアで広く共有されてきた。こうした経済開発の実体とは別に、開発／発展を捉えるための知も、同じように後発だったのだろうか。

興味深いことに、東アジアでは欧米からの概念輸入だけでなく、開発／発展にかかわる独自の発想、文脈に合わせた加工、他国への輸出など、国境を越えたアイデアの貸し借りが見られた。

本発表では、日本、中国、韓国のそれぞれにおける「開発」「発展」をめぐる知の状況を、特に対外援助実践との関連で整理・比較しながら、欧米とは異なる知を生み出そうとした努力（やその不在）に光を当て、開発／発展概念の地理的な射程について試論する。

お申込用QRコード  
事前登録制(2/9×切)

